

"Tribute to Shiosaki Ikuo"

私達音楽家が敬愛して止まない、温かく美しいジャズギターの最高峰、潮先郁男さんと過ごした宝物の日々…命ある限り決して忘れない…お星様になってしまった我が潮先さんに心からの感謝と love を込めて…潮先さんから受け継いだ美しいジャズナンバーの数々を、加藤崇之、宮野裕司、さがゆきで心を込めて演奏し、潮先さんのご冥福をお祈りしたいと思います。

さがゆき vocal, etc.
加藤崇之 guitar, etc.
宮野裕司 alto sax, flute, ocarina

2024 07月06日(土)
開場 13:00 afternoon live
開演 13:30
(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600~)
MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



宮野裕司

気がつけば 高齢者?に仲間入りしてしまっていた。拙いながら もう随分長く演奏活動をさせていただいております。ますます演奏することが嬉しくてたまらないのですが・・・。スタンダード オリジナル ポサノバ 等を中心にシンプルな演奏を心がけております。

さがゆき

東京出身。5才にして歌手になることを決意。一切のジャンルを超えた言葉を伴う”うた”を歌う歌手であると同時に言葉の伴わない”声”を楽器としたフリーキーで幻想的な”完全即興”を歌う稀有な存在としてフランス、ドイツ、オランダ、インド、シンガポール、韓国、アメリカ、中国…世界中から招かれ、フェスティバル等に数多く出演。完全即興ワークショップも定期的に20数年間行っている。様々なアートにも自在に出入りし、共演者も中村八大(p)、富樫雅彦(perc)、高橋悠治(P)、沢井一恵(箏)、金大煥(perc)、姜泰煥(sax)、鬼怒無月(g)、加藤崇之(g)、内橋和久(g)、渋谷毅(p)、林栄一(sax)、潮先郁男(g)、Elliott Sharp(multi)、Anil Eraslan(cello)、大野一雄(舞踏)、白石かずこ(詩人)、谷川俊太郎(詩人)、Heinz Geisser(ds)…等とボーダレス。映画音楽の制作も行う。アルバム多数。参加ユニット多数。スィングジャズから現代音楽、プログレッシブ・ロック、ブラジル音楽、即興音楽、クラシック、ファド、昭和歌謡…etc.を自分の世界にまで深めて歌う、その自在で多岐な活動は世界に類を見ない。年間約150本以上のコンサートを行う。

加藤崇之

兄が聴いていたジャズに興味を持ちギターを始める。高校時代に潮先郁男さんにジャズギターを習う。大学在学中、19才でプロ入り。28才の頃より自己のリーダーとしての活動を開始。米軍キャンプでのディスコバンド・ブラジル人とのサンババンドの経験など幅広い活動。多くのレコーディングに参加、多くのミュージシャンと共演する。次第に、必然的に演奏スタイルがフリーに向かい、1987年頃にはすでにエフェクターでのフリーな実験的Soloを始めていた。フリーな演奏への挑戦から音楽の世界を広げていく過程に好きなラベルの「ダフニスとクロエ」からインスパイヤーされフリーユニット「渦」NEW渦が生まれる。「NEW渦」は始めは宅・山崎とのトリオであった。現在の活動では井野信義(B)が参加。ジョージ大塚G、鈴木勲G、菊池雅章G、益田幹夫G、向井滋春「オリッサ」、高橋知己G、今村裕司G、榎本秀一G、井上叔彦G、金井英人G、翠川敬基「緑化計画」、渋谷知らず、ルイザン・マイアG、フランシス・シルバG、モンゴロイダーズ、CO2等を経て現在に至る。現在、自己のバンドである加藤崇之トリオ「ギタースタンダード」「NEW渦」「エレクトリック渦」「SoLo」の他、宅朱美(Vo)とのDUO「夢」、さがゆき(Vo)とのDUO「シナプス」、蜂谷真紀(Vo)、永塚博之(B)との「アコースティック・ノイズ」、松風鉦一G、宅朱美G、今村裕司G、田村